

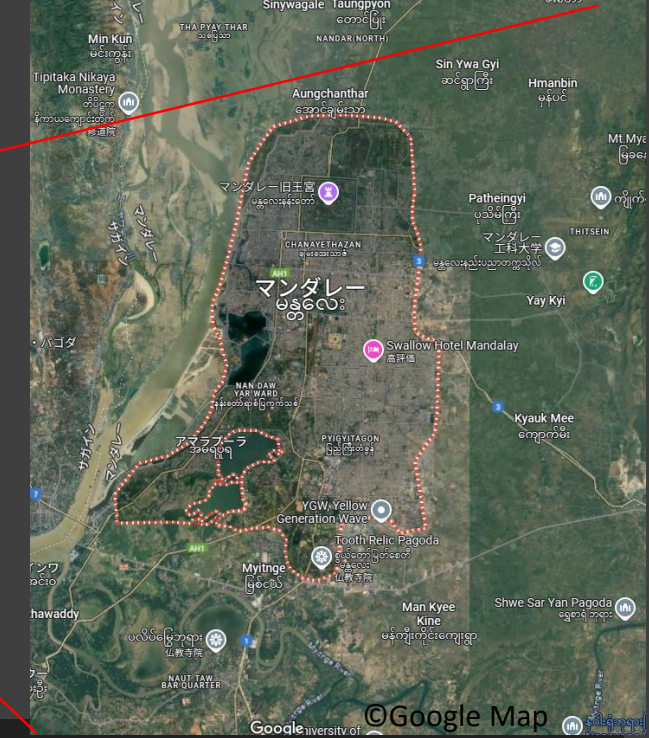
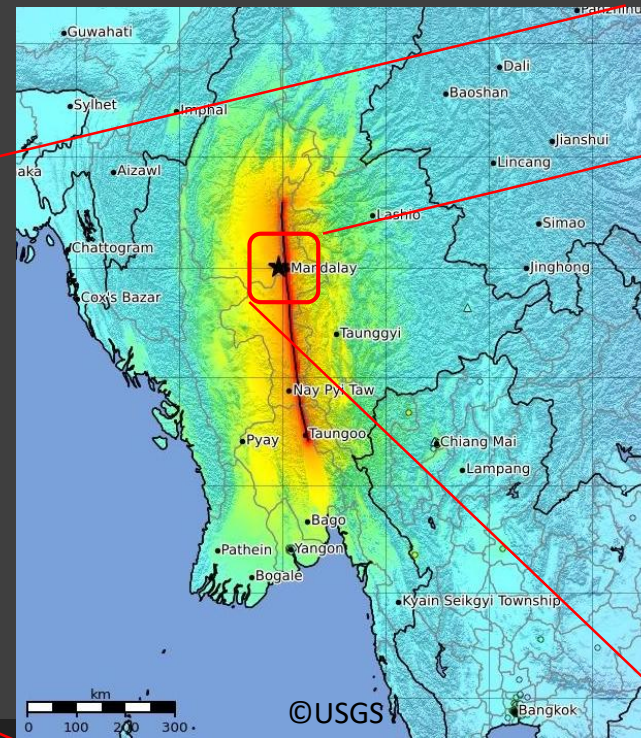
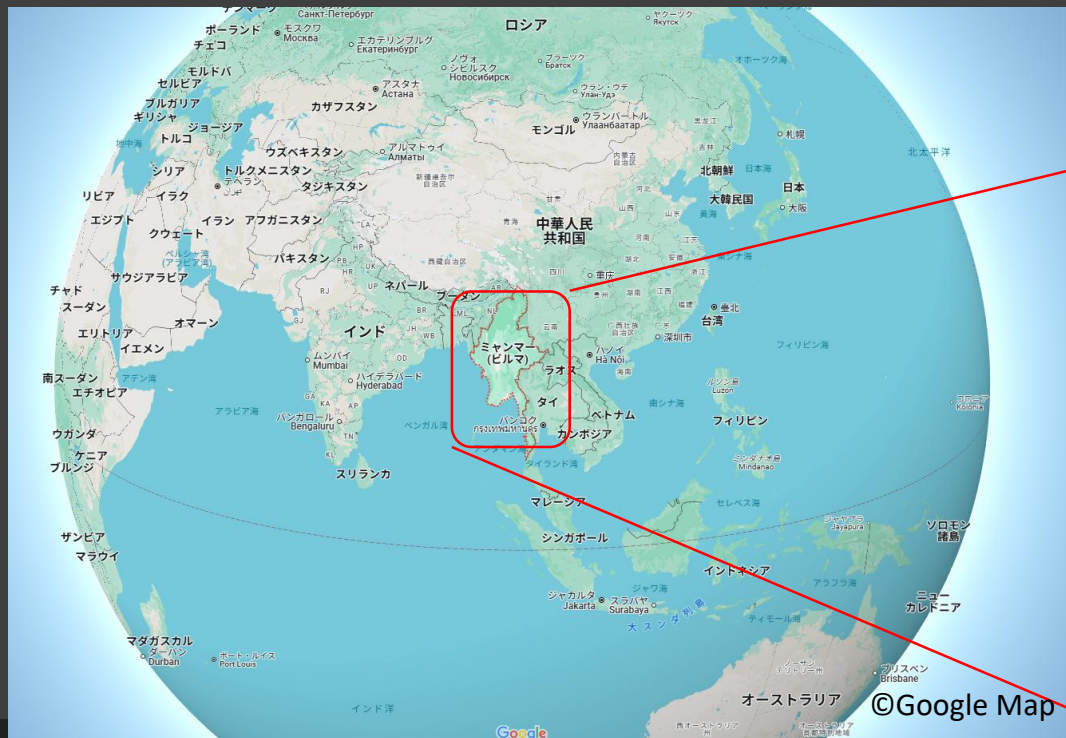


# 2025 マンダレー地震 (ミャンマー)

## (GLIDE No. EQ-2025-000043-MMR)



Click here for English version



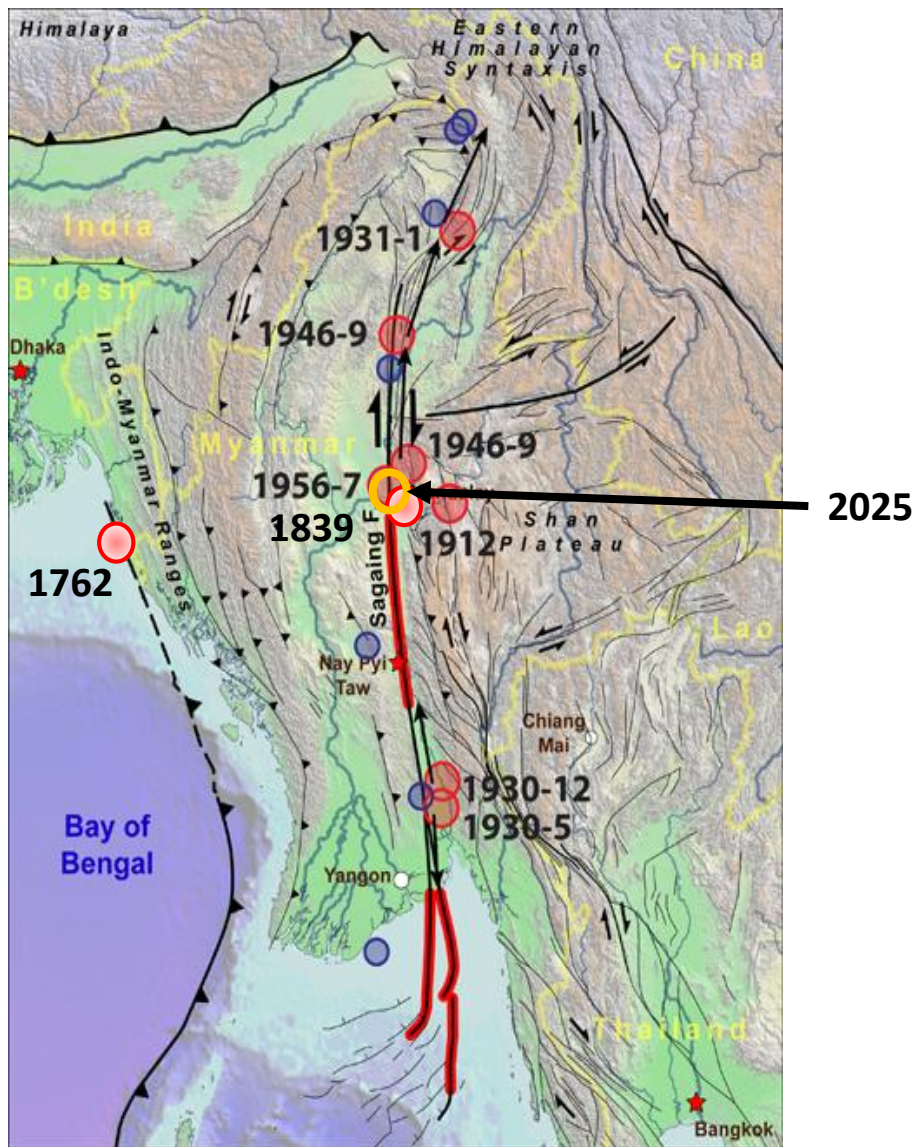
2025年3月28日12:50(MMT, UTC+6:30, 日本時間15:20)、ミャンマー中部ザガイン地区でマグニチュード7.7の地震が発生した(GLIDE No. EQ-2025-000043-MMR)。震源地は同国二番目の都市マンダレー近郊で、震源の深さは約10kmと推定されている。震源地付近の最大震度は9(修正メルカリ震度)を記録した。これは1912年5月23日に発生したメイミョー地震(マグニチュード7.9)以来最大の地震である。

ミャンマーやタイでは、多くの被害が報告されている。ミャンマーでは、被害の大きいザガイン地域を含む6つの州と地域に非常事態宣言を発令した。また、地質学的理由から地震被害が大きいバンコクも非常事態宣言が発令された。

ADRCは、衛星の防災利用を行うセンチネル・アジア事務局として関係機関と連絡を取り、緊急観測を要請した。



# 基礎情報



ザガイン断層帯の位置と過去の主要な地震

<https://www.facebook.com/photo.php?fbid=1440521199431830>

- インドシナ半島の西端にあり、タイ、ラオス、中国、バングラデシュ、インドと国境を接する、国土面積68万km<sup>2</sup>、南北に長い地形を有する。
- 人口は5,131万人(2024国勢調査)。70パーセントがビルマ族で、残りは多様な民族からなる。最大都市はヤンゴン(約240万人)、次がマンダレー(約170万人)、その次が首都ネピドー(約90万人)。
- 国土の中央をエーヤワディー川が縦断し、インドプレートとユーラシアプレートの境界となるザガイン断層帯が縦断している。
- アメリカのサンアンドレアス断層と同様の横ずれ断層である。
- ミャンマーを襲った過去最大の地震は1762年4月2日チッタゴン-ラカイン地震(推定 8.8 Mw)で推定最大震度はXI(修正メルカリ震度)、津波も発生した。
- マンダレー周辺の過去最大の地震は1839年3月23日マンダレー地震(推定8.2Mw)で推定最大震度はXI(修正メルカリ震度)、当時の首都であったインワ(Ava)は、地震によりほぼ完全に破壊され、再建を放棄された。
- 過去100年間の地震地図はMIMUのサイトからダウンロード可能。  
(<https://themimu.info/news/updated-mapping-100-years-earthquakes-myanmar>)

# ミャンマーで発生した地震

年月日	場所	マグニチュード・地震概要
868年	バゴー	シュエマウドー パゴダ（仏塔）倒壊
875年	バゴー	シュエマウドー パゴダ倒壊
1429年	インワ	防火壁が倒壊
1467年	インワ	パゴダ、レンガ造りの僧院倒壊
1485/5/24	サガイン	3つの有名なパゴダが倒壊
1501年	インワ	パゴダなど倒壊
1564/9/13	バゴー	シュエマウドー、マハゼディなどのパゴダが倒壊
1567年	バゴー	Kyaikkoパゴダ倒壊
1582年	バゴー	マハゼディパゴダの傘落下
1588/2/9	バゴー	パゴダやその他の建物倒壊
1591/3/30	バゴー	仏像倒壊
1620/6/23	インワ	地割れ発生、川魚大量死
1637/8/18	インワ	インワ川決壊
1646/9/10	インワ	
1648/6/11	インワ	
1660/9/1	インワ	
1690/4/3	インワ	
1696/9/15	インワ	4パゴダ倒壊
1714/8/8	インワ	パゴダ倒壊、堤防が決壊し都市で洪水発生
1757/6/4	バゴー	シュエマウドー パゴダ損壊
1762/4/2	ラカイン州 シットウエ県	マグニチュード7、ラカイン州ベンガルからカルカタにかけて大きな揺れ

年月日	場所	マグニチュード・地震概要
1768/12/27	バゴー	Ponnyayadanaパゴダ倒壊
1771/7/15	インワ	
1776/6/9	インワ	有名なパゴダ倒壊
1830/4/26	インワ	
1839/3/21	インワ	古い宮殿・多くの建物倒壊
1839/3/23	インワ	パゴダや町の外壁崩壊。地割れ発生。河川逆流発生。Mingunパゴダ倒壊。死者 300~400 人。
1843/2/6	ラカイン州チャウピュー県	Rambye 島の泥火山噴火
1848/1/3	ラカイン州チャウピュー県	土木構造物・建物に被害
1858/8/24	ピエ県	ピエ、ヘンザダ、ターイェトミーでは家屋やパゴダが倒壊し、インワ、シットウエ、ヤウクピュー、ヤンゴンでも被害が出た。
1888/10/8	バゴー	マハゼディパゴダ倒壊
1912/5/23	タウンゲー	マグニチュード7.6-7.9、ミャンマー観測史上最大、隣接するタイ、雲南、インド北東部でも揺れ（Maymyo地震）
1913/3/6	バゴー	シュエマウドーパゴダ倒壊
1917/7/5	バゴー	シュエマウドーパゴダ倒壊
1927/9/10	ヤンゴン	
1927/12/17	ヤンゴン	マグニチュード 7、Dedayeにおいて被害

年月日	場所	マグニチュード・地震概要
1929/8/8	タウンゲー県近郊	線路屈折、橋・暗渠崩壊、積載トラック横転（Swa 地震）
1930/5/5	カヤン郡区近郊	マグニチュード 7.3、バゴーの南37kmの南北に走る地帯（サガイン断層線）。バゴーでの死者 500 名。ヤンゴンでの死者 50 名
1930/12/3	ニャウンレビン	マグニチュード 7.3、線路屈曲。死者約 30 名。（Pyu 地震）
1931/1/27	インドージー東部	マグニチュード7.6、多数の亀裂とひび割れ。（Myitkyuna 地震）
1931/8/10	ピンマナ	
1931/3/27	ヤンゴン	
1931/3/16	ヤンゴン	
1931/3/21	ヤンゴン	
1946/9/12	タガウン	マグニチュード7.5
1956/7/16	サガイン	マグニチュード 7.0、複数のパゴダに大きな被害（死者 40~50 名）
1976/7/8	バガン	マグニチュード 6.8、古都バガンの複数のパゴダに大きな被害（死者 1 名）
2003/9/22	タウンドウィンジ	マグニチュード6.8、民家や宗教建築物に大きな被害（死者 7 名）
2012/11/11	ターベイキン	マグニチュード6、死者 6 名、負傷者 231名、多くの建物が倒壊

Source:  
<https://reliefweb.int/report/myanmar/hazard-profile-myanmar>

# 地震発生と対応の概要

2025年3月28日12:50(MMT, 標準時6:20, 日本時間15:20)、ミャンマー中部ザガイン地区でマグニチュード7.7の地震が発生した。

13:02にはマグニチュード6.7の最大余震が発生した。

アメリカ地質調査所 (USGS) が13:17に地震情報を配信し、ADRCがGLIDE番号を発行した。

14時過ぎに災害チャーターやセンチネル・アジアが発動された。

タイや中国でも被害報道がなされ、各地の被害が徐々に明らかになってきた。

日付	標準時 (UTC)	日本 (JST)	ミャンマー (MMT)	地震発生と対応
3月28日	6:20	15:20	12:50	ミャンマー中部ザガイン地区でマグニチュード7.7の地震が発生
	6:32	15:32	13:02	ザガイン地区でマグニチュード6.7の最大余震が発生
	6:47	15:47	13:17	USGSがミャンマーの地震情報をメールで発信
	7:20	16:20	13:50	ADRCがGLIDE番号 (EQ-2025-000043-MMR) を発行
	7:28	16:28	13:58	ガーディアンがAFP通信のニュースとして、地震の第一報を報道
	8:08	17:08	14:38	ADRCが関係機関へセンチネル・アジア発動の必要性を打診
	8:15	17:15	14:45	UNOCHAが災害チャーターを発動
	8:22	17:22	14:52	AHAセンターがセンチネル・アジア緊急観測を要請
	10:06	19:06	16:36	UNDPのミャンマー情報管理ユニット (MIMU) がセンチネル・アジアの緊急観測を要請
	10:09	19:09	16:39	タイの被害に対し、GLIDE番号 (EQ-2025-000043-THA) を発行
3月29日	13:47	22:47	20:17	中国の被害に対し、GLIDE番号 (EQ-2025-000043-CHN) を発行
	16:35	1:35	23:05	JAXAがALOS2で3/30に観測することを通知
	20:05	5:05	2:35	JAXAがアーカイブ画像を提供開始
	21:15	6:15	3:45	SynspectiveがSAR衛星でMandalayの橋の破損を観測
	6:57	15:57	13:27	GISTDAがタイを対象にしたセンチネル・アジア緊急観測を要請
3月31日	7:33	16:33	14:03	JAXAがALOS2緊急観測画像をアップロード

# 被害状況 (as of 06:00 on 02 APRIL 2025)

ミャンマー、タイ、中国、ベトナムなどの被害

	ミャンマー	タイ	中国、その他
<b>Killed</b>	1,659	20	
<b>Missing</b>	284	78	
<b>Injured</b>	3,534	34	
<b>Evacuee</b>			
<b>House / Building / Road</b>	家屋5,460棟、ビル512棟、学校168校、事務所722棟が倒壊。 道路47カ所、橋25カ所、ダム10カ所、レンガ塀150カ所に被害。 544の宗教建築物と463の仏塔が損壊。	建設中の高層ビルが倒壊。 593家屋、72寺院、108病院、12ビル、58学校、33政府機関が被害	
<b>Fire</b>			
<b>Lifeline</b>			
<b>支援</b>	ロシアが救助隊を派遣、中国が救援医療チームを派遣。 インド、アメリカ、ASEAN、EU、国連が支援を表明。 岩屋外務大臣がお見舞いメッセージ。	石破総理及び岩屋外務大臣がお見舞いメッセージ。	中国地震局が海外地震緊急対応メカニズムを発動し、雲南省地震局の調査チームを瑞麗市に派遣した。
<b>出典など</b>		DDPM <a href="https://www.disaster.go.th/contents/disaster_news">https://www.disaster.go.th/contents/disaster_news</a>	CEA <a href="https://www.cea.gov.cn/cea/xwzx/fzjzyw/5807447/index.html">https://www.cea.gov.cn/cea/xwzx/fzjzyw/5807447/index.html</a> , AHA Centre <a href="https://ahacentre.org/situation-update/situation-update-no-2-m7-7-earthquake-in-myanmar-and-thailand-31-march-2025/">https://ahacentre.org/situation-update/situation-update-no-2-m7-7-earthquake-in-myanmar-and-thailand-31-march-2025/</a> , MOFA <a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/asia.html">https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/asia.html</a>



# 国際社会の支援状況 (as of 12:00 on 31 March 2025)

国際社会からも多くの支援が表明され、各国や国際機関がミャンマーへの援助活動を開始している。

右表の他、シンガポール、マレーシア、フィリピンなども救助チームや人道支援チームの派遣を決定している。

アイルランドは600万ユーロ(約649万ドル)の援助パッケージを発表した。

日本赤十字社も現地と密に情報交換を行い、必要に応じて支援を行うとしている。

国/機関	支援内容	支援金額/詳細
中国	救助隊、医療物資、シェルター	約1380万ドル
インド	野外病院、医療従事者、物資	複数の航空機と艦船
ロシア	救助隊、医療スタッフ、移動病院	3機
イギリス	資金援助	1000万ポンド
アメリカ	資金援助、緊急対応チーム	最大200万ドル
欧州委員会	資金援助	250万ユーロ
IFRC	緊急支援要請	1億ドル以上の要請
国連	資金援助	500万ドル(中央緊急対応基金)
韓国	資金援助	200万ドル
ニュージーランド	資金援助	114万ドル
カンボジア	資金援助	10万ドル(初期援助)
ベトナム	救援物資、医療援助、救助犬を含む タスクフォース	80名、60トンの物資
香港(中国)	救助隊、資金援助	51名、9トンの装備、3000万香港ドル(約380万米ドル)
日本	情報交換、必要に応じた支援	緊急援助物資、緊急援助隊を検討

# Useful Links

Situation Report	
DDPM, Thailand	<a href="https://www.facebook.com/DDPMNews">https://www.facebook.com/DDPMNews</a>
MOSWRR, Myanmar	<a href="https://www.moswrr.gov.mm/">https://www.moswrr.gov.mm/</a>
China Earthquake Networks Center	<a href="https://www.cenc.ac.cn/">https://www.cenc.ac.cn/</a>
China Earthquake Administration	<a href="https://www.cea.gov.cn/">https://www.cea.gov.cn/</a>
Geographical Data	
Sentinel Asia: Emergency Observation	<a href="https://sentinel-asia.org/EO/2025/article20250328MM.html">https://sentinel-asia.org/EO/2025/article20250328MM.html</a>
Disaster Charter	<a href="https://disasterscharter.org/activations/earthquake-in-myanmar-activation-956-">https://disasterscharter.org/activations/earthquake-in-myanmar-activation-956-</a>
USGS	<a href="https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/eventpage/us7000pn9s/executive">https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/eventpage/us7000pn9s/executive</a>
International Organisations	
ADRC	<a href="https://www.adrc.asia/view_disaster_jp.php?Lang=jp&amp;Key=2742">https://www.adrc.asia/view_disaster_jp.php?Lang=jp&amp;Key=2742</a>
GDACS	<a href="https://www.gdacs.org/Earthquakes/report.aspx?eventtype=EQ&amp;eventid=1474479&amp;episodeid=1630569">https://www.gdacs.org/Earthquakes/report.aspx?eventtype=EQ&amp;eventid=1474479&amp;episodeid=1630569</a>
Relief Web	<a href="https://reliefweb.int/disaster/eq-2025-000043-mmr">https://reliefweb.int/disaster/eq-2025-000043-mmr</a>
MIMU (Myanmar Information Management Unit)	<a href="https://themimu.info/">https://themimu.info/</a>
Study Report	
Yangon Region Earthquake Preparedness and Response Plan	<a href="https://www.undp.org/sites/g/files/zskgke326/files/migration/mm/undp-mm-yangon-region-earthquake-preparedness-and-response-plan-eng.pdf">https://www.undp.org/sites/g/files/zskgke326/files/migration/mm/undp-mm-yangon-region-earthquake-preparedness-and-response-plan-eng.pdf</a>
Mandalay Earthquake Scenario Planning Summary, 26 February 2015	<a href="https://sheltercluster.s3.eu-central-1.amazonaws.com/public/docs/annex_3b_-_mandalay_earthquake_scenario_planning_summary.pdf">https://sheltercluster.s3.eu-central-1.amazonaws.com/public/docs/annex_3b_-_mandalay_earthquake_scenario_planning_summary.pdf</a>

# Emergency Observation by Space Satellites

The ADRC, the Sentinel Asia Secretariat, started coordinating with relevant organisations on the same day following the earthquake reports, and AHA Centre and UNDP requested the activation of Sentinel Asia. The International Disaster Charter (IDC), which covers the entire world, was likewise activated.

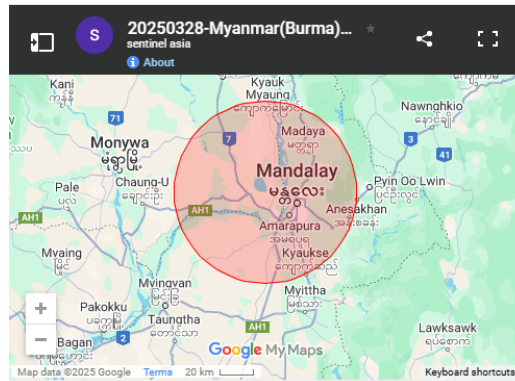


Emergency Observation About Activities Meetings Interviews Communications Contact OPTEMIS

2025-03-28

## Earthquake in Mandalay, Myanmar on 28 March, 2025

### Emergency Obs. Request Information



Disaster Type: Earthquake  
Country: Myanmar  
Occurrence Date (UTC): 28 March, 2025  
SA activation Date(UTC): 28 March, 2025  
Requester: Myanmar Information Management Unit (MIMU)  
Escalation to the International Charter: No  
GLIDE Number: EQ-2025-000043-MMR

### Disaster Situation

[USGS]  
<https://earthquake.usgs.gov/earthquakes/eventpage/us7000pn9s/executive>  
[Local Social Media]  
<https://myanmar-now.org/en/news/breaking-7-7-magnitude-earthquake-hits-sagaing-and-mandalay/>  
<https://www.ndtv.com/world-news/7-7-magnitude-earthquake-hits-myanmar-strong-tremors-felt-in-bangkok-news-agency-afp-8030256>

Sentinel Asia (<https://sentinel-asia.org/EO/2025/article20250328MM.html>)



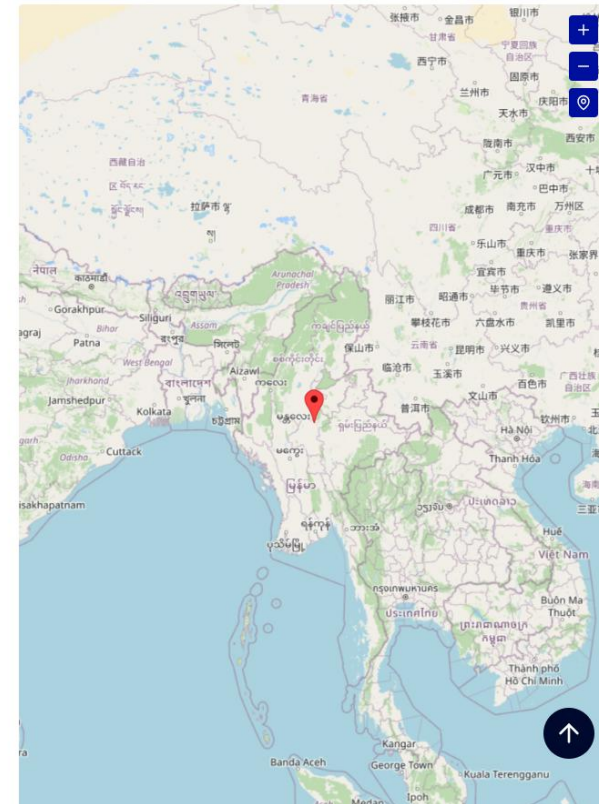
Home Activations About Resources

Login Eng

## Earthquake in Myanmar

On 28 March an earthquake with a magnitude of 7.7 has struck central Myanmar. The epicentre was located 10 miles northwest of the city of Sagaing. Many buildings have been left with extensive damage. Road surfaces in the capital city, Naypyidaw, were reported to have warped and become uneven. Seventy construction workers are missing after a high-rise building under construction collapsed. Travelers at Mandalay Airport were evacuated to the tarmac landing areas as airplanes shook around them. The death toll is yet to be confirmed. Strong tremors were felt in nearby countries, including Thailand and China.

Type of event	Earthquake
Location of event	Myanmar
Date of Charter Activation	2025-03-28
Time of Charter Activation	09:28
Time zone of Charter Activation	UTC+07:00
Charter Requestor	UNOSAT on behalf of United Nations Office for the Coordination of Humanitarian Affairs (OCHA)
Activation ID	956
Project Management	Jakrapong Tawala (UNITAR)
Value Adding	NRSC/ISRO



IDC (<https://disasterscharter.org/activations/earthquake-in-myanmar-activation-956->)



# Comparison of the Inwa Bridge in Mandalay, before and after the disaster

Satellite imagery from Strix Satellite of Synspective, showed the collapsed Inwa (Ava) bridge in Mandalay.



©Synspective ( <https://x.com/synspective/status/1905927311096193196> )



On March 28th, 2025, a 7.7-magnitude earthquake struck the Sagaing Region of Myanmar. Synspective StriX Satellite captured the Collapsed Ava Bridge in Mandalay.

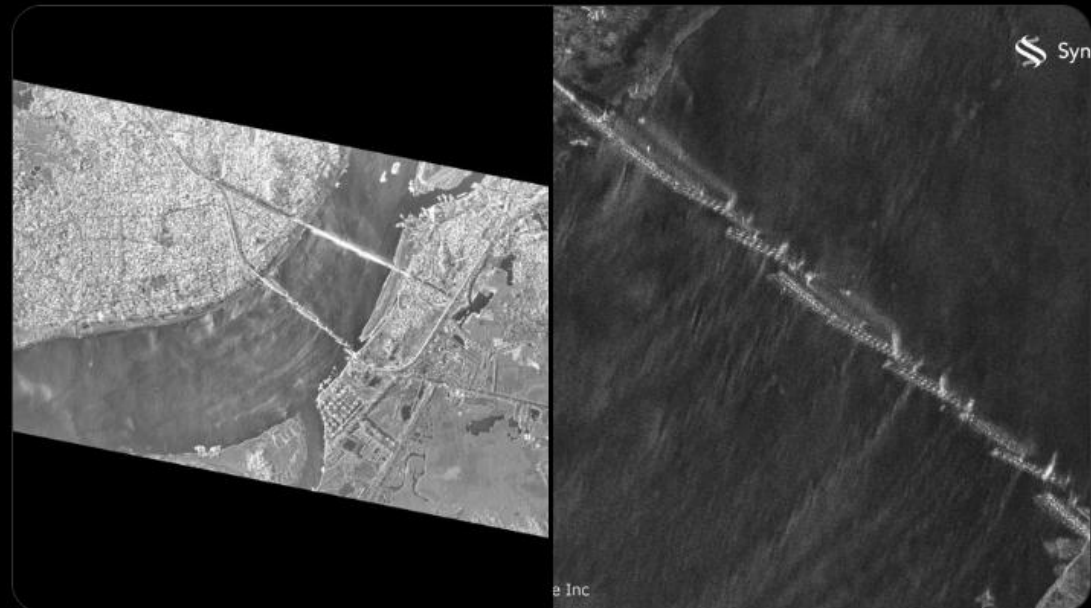
This earthquake caused significant damage to buildings and infrastructure within Myanmar and neighboring countries. Our heartfelt sympathies go out to all those affected by this disaster.

Observation Date: 2025-03-28 21:15:55 UTC

Observation Mode: Staring Spotlight Mode (0.9m x 0.25m resolution)

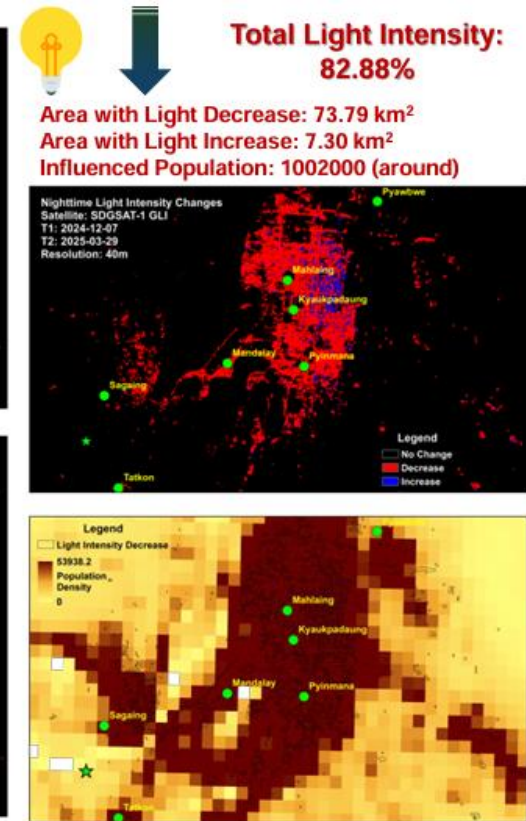
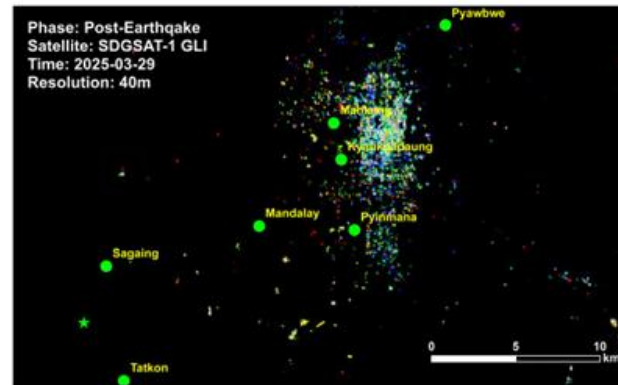
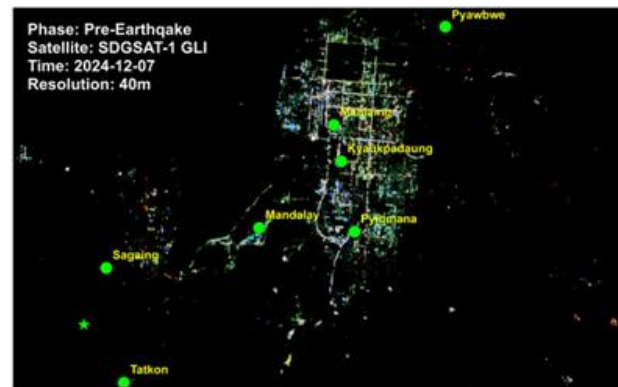
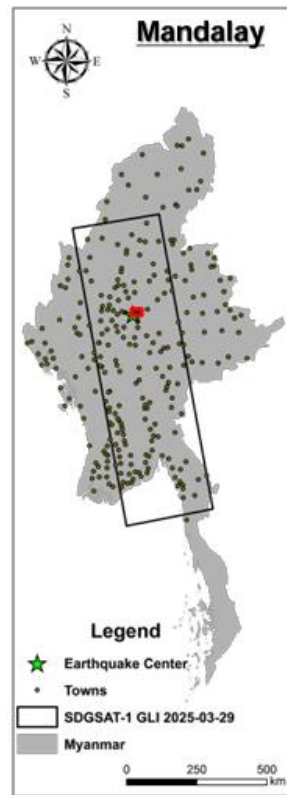
#DisasterResponse #EarthObservation #SatelliteData #StriX #SAR #earthquake #Myanmar

ポストを翻訳



# Monitoring Light Reduction and Population Impact After the Earthquake

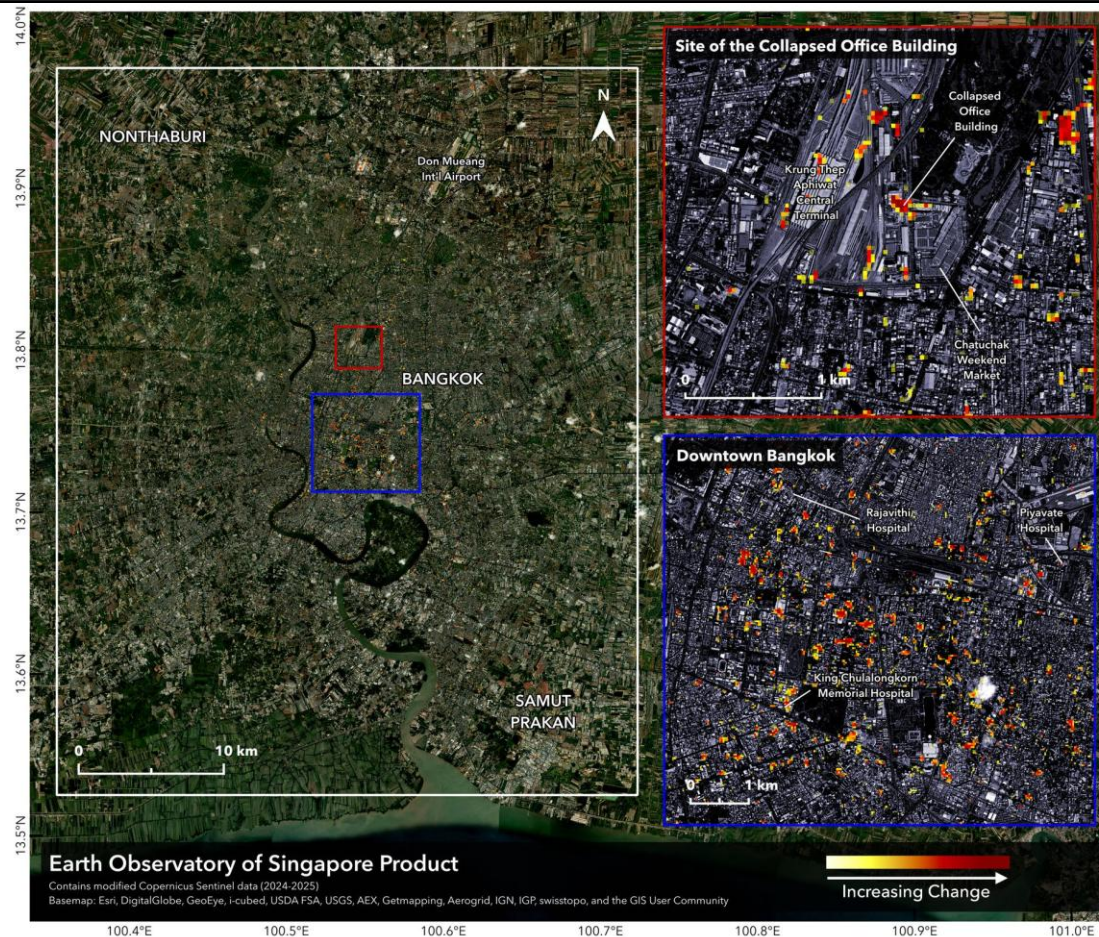
SDGSAT-1 acquired GLI and TIS data successfully. The images were analyzed to calculate the light decrease, which can reflect the change of human activities and the impact of the population.





Extraction of damage through comparative analysis of SAR data before and after the earthquake.

Earth Observatory of Singapore - Remote Sensing Lab (EOS-RS) created some preliminary Damage Proxy Map (DPM). Yellow to red indicates increasingly significant ground surface change before and after the event.



EOS-RS Damage Proxy Map:  
Bangkok, Thailand,  
Earthquakes,  
29 Mar 2025, v0.9

The Earth Observatory of Singapore - Remote Sensing Lab (EOS-RS) created this preliminary Damage Proxy Map (DPM) depicting areas that are likely damaged in Bangkok, Thailand, due to a Mw7.7 earthquake in Sagging, Myanmar on 28 Mar 2025. This map was derived from synthetic aperture radar (SAR) images acquired by the Copernicus Sentinel-1 satellite operated by the European Space Agency (ESA) before (17 Nov 2024 to 17 Mar 2025) and after (29 Mar 2025) the event.

The map covers an area indicated by the white polygon. Damage is shown by colored pixels of 30m in size, where yellow to red indicates increasingly significant ground surface change before and after the event. Preliminary validation was conducted using news reports and ground-level imagery and videos in selected areas. This map should be used as a guidance to identify damaged areas, and may be less reliable over vegetated or mountainous areas. Scattered pixels over vegetated or mountainous areas may be false positives, and a lack of colored pixels over such areas may not mean no damage.

The product contains modified Copernicus Sentinel data (2024-2025), processed by ESA and analyzed by the Earth Observatory of Singapore - Remote Sensing Lab (EOS-RS).

More map details and files at:  
[https://eos-rs-products.earthobservatory.sg/EOS-RS\\_202503\\_Thailand\\_Earthquakes/](https://eos-rs-products.earthobservatory.sg/EOS-RS_202503_Thailand_Earthquakes/)

Legal Disclaimer:  
<https://products.earthobservatory.sg/#/faq/>

Credits: Earth Observatory of Singapore - Remote Sensing Lab (EOS-RS), Contains modified Copernicus Sentinel data (2024-2025)

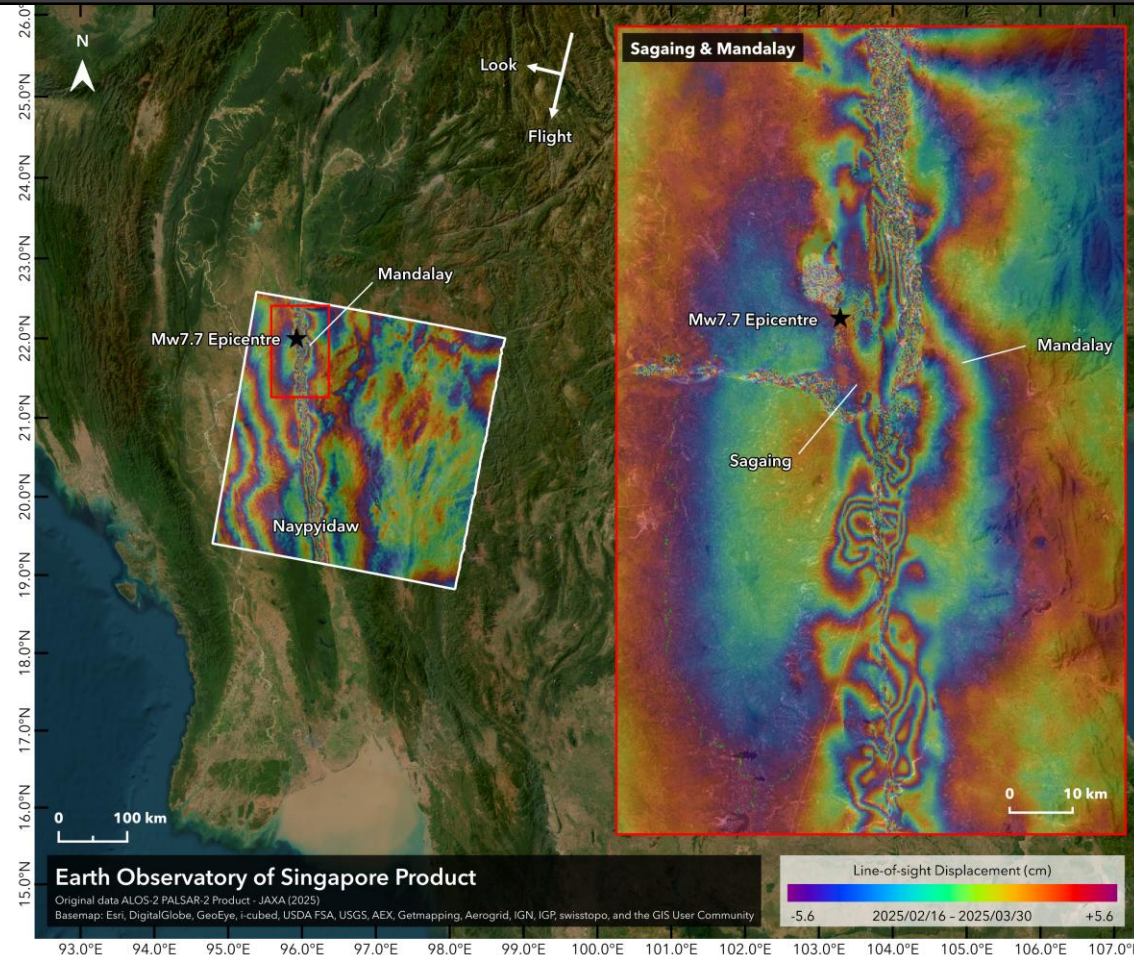
EOS Remote Sensing  
LinkedIn





# InSAR (interferometric SAR) analysis of ALOS-2 satellite imagery

Earth Observatory of Singapore - Remote Sensing Lab (EOS-RS) created Interferometric Synthetic Aperture Radar (InSAR) map that shows the surface displacement (wrapped interferogram) of the Mw7.7 earthquake and its aftershocks along the Sagaing Fault



EOS-RS Interferogram  
(Wrapped):  
Myanmar, Earthquakes,  
2025/02/16-2025/03/30,  
v0.1

The Earth Observatory of Singapore - Remote Sensing Lab (EOS-RS) created this Interferometric Synthetic Aperture Radar (InSAR) map that shows the surface displacement (wrapped interferogram) of the Mw7.7 earthquake and its aftershocks along the Sagaing Fault in Myanmar on 28 Mar 2025. This map was derived from SAR images acquired by the ALOS-2 satellite operated by the Japan Aerospace Exploration Agency (JAXA) before (16 Feb 2025) and after (30 Mar 2025) the event.

Each color cycle represents 11.2 cm of ground displacement in the radar line-of-sight. Ionospheric delay variation was mitigated, but tropospheric delay variation was not.

Data were provided by JAXA and analyzed by the Earth Observatory of Singapore - Remote Sensing Lab (EOS-RS).

More map details and files at:  
[http://eos-rs-products.earthobservatory.sg/EOS-RS\\_202503\\_Myanmar\\_Earthquakes/](http://eos-rs-products.earthobservatory.sg/EOS-RS_202503_Myanmar_Earthquakes/)

Credits: Earth Observatory of Singapore - Remote Sensing Lab (EOS-RS), Original data ALOS-2 PALSAR-2 Product - JAXA (2025)

EOS Remote Sensing  
LinkedIn



# Interactive Map: Sagaing Earthquake Reports (March 2025) is sharing at MIMU site

Interactive web map documenting reported damage from the Sagaing Earthquake on March 28, 2025. The map aims to visualize available reports to support awareness and response operations.

Disclaimer:

The data presented in this web map is compiled from publicly available social media posts and news reports. Location and other related information have been estimated based on the best available data; however, accuracy cannot be guaranteed. All content remains the property of the original content creators and publishers.

